



# ぼらんていあ通信

6月号  
通巻 No.475

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2021年6月22日

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: http://sagamiva.info/



## 2021年度通常総会開催

### 議案すべて承認される 期待される新役員体制で活動!



去る5月23日(日)午後2時より、あじさい会館6階第1展示室にて令和3年度(2021年度)通常総会が開催された。資格審査は小野明雄さんから「正会員106名、出席者11名、議決権行使者43名、委任状22名、合計76名で2分の1以上となり総会は成立する」と報告があった。

議事に入る前に、議長の高橋功ボランティア協会会長が「お忙しいところ、ご出席くださりありがとうございます。昨年の総会は、コロナ禍の緊急事態宣言発令中で、議決権行使という書面参加をお願いしたので、わずか3名の出席で行われましたが、本年は、新旧の理事の方にご出席いただきました。忌憚のない意見や質疑をお願い致します」と挨拶。議事録署名人は杉本さんと小野さんが担当。

- 第1号議案 2020年度事業報告
- 第2号議案 2020年度会計報告

高橋会長が両議案をまとめて説明された。新型コロナウイルスの影響で中止になった事業も多い中で、ぼらんていあ通信の発行や、住まい探しサポート事業は1年を通して活動。ハンディキャップ運行事業は、2台の福祉車両とセダン型車の運行も一時中止したが、6月には再開。マスク着用、車内の消毒、換気、運転者ご利用者さん共に検温、手指消毒など感染対策を励行し、3330回に及び運行を実施。

11月には12号車となる新車を購入。2020年度3月の利用人数は59名。傾聴活動は、利用者さんとボランティアさんともに感染予防対策を徹底して1ロードにお答えしてきました。利用者さんは19名で活動件数は127回。

ほかほかふれあいフェスタに代わる事業として、10月17日(土)あじさい会館ホールで、感染対策を厳重にして「特別イベント」を開催。ホール参加は5団体、展示参加は4団体、関係者限定ながら100名の参加があった。なお、当日の様子はDVDに収められ、希望する団体に配布。また協会のPRにも活用する。

12月6日にはサンテック相模大野で例年通り障害者週間にちなんで、障がい福祉に関する市民の関心と理解を得るためのキャンペーンを繰り広げた。

令和3年に入り、3月24日(水)に、市社会福祉協議会とボランティア協会の共催で「Zoomを学ぶ講習会」をあじさい会館6階で開催。地域で活動する6人のグループリーダーを対象に、コロナ禍で集まらなくてもボランティア活動ができるようにと各自パソコンを持ち寄りのZoom会議のやり方を学んだ。

「ぼらんていあ通信」は1981年以來毎月発行し、2021年5月で通巻474号となり、会員以外には市内のボランティア団体、公民館、学校などにも配布。



(後列左から) 松原理事、勝部監事、西本理事、渋谷理事、羽田理事  
(前列左から) 加藤理事、小野前理事、高橋理事、杉本監事、恒藤理事

季刊ぼらんていあ情報誌「わくわく」49号を300部発行。しかし50号の2021春号をもって編集員不足などにより休止とする。

事務局運営体制の整備、役割分担などは継続検討事項。イオングループの「幸せの黄色いレシートキャンペーン」には引き続き参加。家員転倒防止のための援助活動は、相模原防災ボランティアネットワークと協働実施。必要な機材を整え新しいボランティアさんを募集し体制作りを務めた。

2020年度の会計報告も高橋さんから丁寧に行われ、その後、監事の西本さんから4月22日に勝部さんと監査を行ったところ、業務の執行並びに経理の内容は適正であると認められた旨の報告があった。

次ページに続く

第一号議案、第二号議案は一括で審議され満場一致で承認された。

第三号議案 役員を選任

役員選出管理委員会委員長長の勝部幸三さんから理事7名の投票結果報告があり、高橋会長からは無任所理事1名、監事の各の提案があり、いずれも満場一致で承認された。

第四号議案 2021年度事業計画案

第五号議案 2021年度予算案

役員4名が交代し新体制でスタート。6月には創立40周年を迎え10年の歩みなどを作成。財政面では、寄付募金の促進、イベントでのバザー展開、協賛団体の獲得、切手グループなどの寄付協力に力を注ぐ。HCC運行に関しては、福祉車両の導入とセタン型の白で引き続き「かながわ福祉移動サービス」ネットワークに加盟。利用者を増やす努力をしていく。傾聴ボランティア活動については、活動上の課題点を改善し、PRにも努め、利用の促進を図る。

ほかほかふれあいフェスタ2021（10月16日）、障害者週間キャンペーン（11月27日）、障がい児者との交流ホウリング大会（2月）は開催予定だが、ボランティア養成講座に関しては未定で検討中。会員相互の交流をはかるため、親睦会も会員向けの研修の機会を設けての説明があった。

回議案は一括審議され、満場一致で承認された。滞りなく全ての議案が承認され、昨年に続くコロナ禍の総会が無事に終了した。

総会後やむを得ず新役員での理事会が設けられていた。新しい役員を加えた新体制での今後の活動で大きい期待をもちまわす。（白崎）



7月の記念日は？

小倉義男

7月20日、月面着陸の日です。

1969(昭和44)年7月20日（日本時間7月21日早朝）アメリカの有人宇宙船アポロ11号が月面着陸に成功し、人類が初めて月面に降り立ちました。最初に月面に降りたアームストロング船長は、これは一人の人間にとっては小さな一歩だが、人類にとっては偉大な飛躍であるとのメッセージを発信。

これは世界同時衛星生中継されており、当時自分も夢中になってテレビ中継を観ていた記憶があります。

興奮しましたね〜。

小倉画



クイーンズに挑戦

森と紙に関する環境クイーンズです。

① 次のうち、地球温暖化の主な原因になると言われている物質はどれか。

- ア酸素 ①アンモニア ②二酸化炭素 ③水素
  - ④オゾンガス
- ② 一年間に世界の森林が減少する面積は、日本の国土の何割か。

- ア3000分の1 ①3000分の1
- ウ300分の1 ②300分の1

③ 紙は回収再利用のサイクルが長いとされている。

- ア一回だけ ①一回だけ
- ウ一回だけ ②一回だけ

\*答えを探そう！

Twitter

ぼらんていあ通信版 ツイッターコーナー

石関 清美



あじさい会館で会議がある時は夫に送迎をしてもらっています。家から30分余りかかります。その間はスーパーで買い物しているのですが...。そんなある日、買い物をしていると館内放送で私の名前、それもフルネームで呼び出しがあり、夫に何かあったかと思いつつ、何かあれば携帯に連絡があるはずと思い直し、サービスカウンターに恐る恐る「石関ですが」と出頭(?)すると、若い店員さんがニコニコしながら「お財布が届いています」。驚いて財布の特徴を言ったら「ハイ、その通りです。申し訳なかったのですが中身を見させて頂きました。良かったですね」と手渡してくれたのでした。「有難うございます。何処にありましたか？」パン屋さんが届けて下さったそうです。スーパーの入口にあるパン屋さんで買った時に忘れたらしく、お礼に行くところでも「良かったですね」と。ああ恥ずかしい！ 本当に有り難かった。そしてレジに行く前で良かった。払う時に財布が無かったら大騒ぎになっていた。

会流した夫は落着いたので「私を買って」良いあることだから」と。慰められたのですが、私は心の中で（貴方は良くなるけど私は減多になっちゃう）と。その言葉は取れたらいいなと心で思っていました。

ボランティア活動グループ。訪問記



爽快なパフォーマンスで元気いっぱい  
相模原よさこい合同チーム

新型コロナウイルスのワクチン接種が始まりました。まだまだ感染症予防対策が必要な日々が続いています。

今回は昨年10月に開催された「ほかほかふれあいフェスタ特別イベント」と、12月に開催された「障害者週間キャンペーン」に参加いただいた「相模原よさこい合同チーム」さんにメールでの取材を受けたいいただきました。

ほかほかふれあいフェスタ担当の田本美枝さんにお話を伺いました。

Q1. 合同チームですが、ほかほかフェスタでの参加は何チームでしょうか？

よさこい合同連は、参加させて頂くイベントの規模により変わりますが、相模原で活動されているよさこいチームの何チームかにその都度お声かけさせていただきます。

Q2. 参加いただいているチーム名、設立年数、年齢、練習方法などをお聞かせください。

相模原市南区を拠点に活動している「颯舞龍」は大人からキッズまでのチームです。部活の両立は大変ですが、週一度の練習は気合を入れて頑張っています。



「笑楽」の代表もなさっている田本さん。かっこいい!!

相模原市南区を拠点に活動している「颯舞龍」は大人からキッズまでのチームです。部活の両立は大変ですが、週一度の練習は気合を入れて頑張っています。

緑区を拠点に活動している「ちやまま」は大人から小さいお子様まで幅広い年齢層のチームです。よさこいは勿論、元幼稚園の園長先生が季節毎のいろいろな行事のお楽しみ会など企画されアットホームなチームです。

「笑楽」は私が在籍するチームです。

人数は少ないのですが、よさこいを通してメンバーとは20年近い家族の様な存在です。

今はがむしゃらに「こき進め事やり、楽しんで笑って仲間よさこいを楽こも事を第一とした活動をしています。

他に御協力いただくチームさんもありますが、この3チームで参加させて頂く事が多い状況です。

このチームさんも2000年〜活動されています。

Q3. 数々のイベントが中止になっていますが、コロナ禍以前ほどのようなイベントに参加されていますか？

相模原市民桜まつり、古淵で開催されるよさこいRANBU、橋本七夕祭り、横浜ハレイドなど記載するほど長くなります。大きいお祭りから地元のお祭りの夏から冬にかけては毎年とても嬉しいことでした。

Q4. 鳴子を打ちながら威勢のいいソーラン踊りを踊るには体力が必要だと思いますが、日頃から何か体力作りをなさっていますか？

皆さん一般人なのでお仕事や家事をこなしながらの活動です。特別な事は特にしてませんがよさこいが好きという気持ちで、心も身体も元気である事を心がけて楽しく練習に取り組む・事ならいってしまおうか。

Q5. 活動が再開されたとき、何回かお元気な姿を聞かれていますか？

マスクを外して声を出しての演舞、よさこい仲間を含め沢山の方々と笑顔でハイタッチ！お祭りを普通にみんなで楽しめる日が来る事を願っています。自分達の活動が微力ではありますが何かしら元気を届けてくれるもので有ればいいなあと思っています。

以前よさこいソーラン踊りを見たことがあります。活動が再開された時には自粛生活に疲れた私たちが、よさこいというパワースタンプを返さってくださる。ありがとうございます。

(小山)



2021年障害者週間キャンペーンで!



ちっちゃいお子さまも元気いっぱい♪



\*相模原よさこい合同チームへのご連絡はボランティア協会までよろしくお願いします。  
TEL 042-759-7982  
Eメール sagamiva@feel.ocn.ne.jp

理事会報告

6月12日(土) 定例理事会(理事7名出席)

一・報告・確認事項

・通常総会後に必要な事務処理、手続きについて確認した。

二・委員会報告

◆広報委員会

・ぼら通7月号の発行は20日印刷、21日発送。

・協会ホームページの更新について、管理していただいている外部担当者と確認した。

◆ハンディキャップ委員会

・運転ボランティアとして、新しく2名の方に登録いただいた。

◆事務局委員会

・「黄色いシートキャンペーン」のPRについて検討した。

◆講座検討委員会

・時代に即したテーマで講座が開催できるかのように検討中。

◆傾聴委員会

・傾聴利用者の地域ごとの人数などを確認した。

三・審議事項

・協会組織体制と、担当責任者について確認した。

四・その他

・相模原市社会福祉協議会会長 戸塚英明氏(逝去に伴う弔意)について確認した。

次回理事会 7月10日(土) 10時より



ぼらんていあ情報誌  
「わくわく」刊行!

わくわく2021春号  
(第50号 5月20日発行)

内容は

- ・わくわく座談会の概要集
- ・ふくしワンポイント情報
- ・わくわくシリーズものの  
タイトル一覧表

・人物シリーズ 50

・4コマ漫画「わくわくさん」

などが掲載されています。

あじさい事務局に置いてあります。

\*今まで多くの方にご愛読いただき  
てきましたが、この50号をもって情  
報誌「わくわく」は、休刊させていた  
だきます。

また、皆さまにお会いできる日を楽  
しみにしています。



相模原ボランティア協会 7月の予定

日	時間	内容
4(日)	10:00~	HC委員会
7(水)	14:00~	講座検討委員会
10(土)	10:00~	定例理事会
13(火)	13:00~	広報委員会・ぼら通部会
14(水)	18:30~	ほかふれ実行委員会
17(土)	13:00~	事務局委員会
20(火)	13:00~	ぼら通7月号印刷
21(水)	13:00~	ぼら通7月号発行

障がい者の方が書かれた詩です。

わくわく50号より

歩み

坂本隆夫  
さかもたかお



晩秋の 陽(ひ)を 浴びながら  
一歩 一歩 ゆっくりと 歩く  
空は まぶしく 雲 一つ ない  
広い グランドで 子らは  
サッカー かけっこ等に 興じている  
私も 走りたい  
しかし 今は 歩みは 遅い  
あせるな あせるな 時を 待て  
一歩の 積み重ねに  
期待を 持とう  
来年には 光輝く 時が 来る  
そう 思って 生きよう  
ハッピー ニュー イヤー――

会員のひろは

ホランテニア協会会員の皆さまの日頃の活動などを福田に語っていただくコーナーです。

ダンスパーティー

前島 美紀子

今年も紫陽花の季節がやってきました。

昨年の父の日、92歳になった父に、鉢植えの紫色の「ダンスパーティー」というナーシングの紫陽花をプレゼントした。気品のあるただずまいに心ひかれた。

父は93歳になっても元気で、脚立に登って道路にむかって伸びすぎたかしの木を切ったり、家の前の歩道に伸びすぎた雑草をぬいたりして近所の方々に喜ばれていた。暇をもつあまらずとこのうはなへ、陶芸をやり、写真をやり、観葉植物を育て、水槽をいくつも並べ熱帯魚の稚魚を「オレが死ぬまでに入さなくてはならない」と言いながら育て、庭や家周りを心地よく整えていた。とりわけこの季節は、ラベンダーが紫に香り、通る人を心安ませてくれる。

両親のおだやかな日々が、昨年8月、母の認知症発症によって助けが必要になった。

娘の私が介護に通うようになった半年前、父が庭で転倒し大腿骨骨折で入院した。

コロナで思うように会えないまま、尿路肺炎から敗血症になり今年9月に急死した。



最後は一人だけ許されて病室で私が一晩付き添った。父にしては雄々しい姿をみせてくれた。穏やかに眠るような表情に安堵した。

父「きあや、一人になった母や、ともあれ納骨までは一緒に過すつもり、私は今、実家で暮らす。6月になったあの日、庭の奥に気品のある姿で咲いている紫色の紫陽花をみつけた。昨年私がプレゼントしたあの「ダンスパーティー」だ。ここに植えたんだ！結構な大きさの株になっている。

しかも隣には、少し小ぶりなつす紫色の紫陽花も競つように艶やかに咲いている。母が「あはれ、あなたの弟がやっぱり父の日に持ってきた「隅田の花火」だよ」と言った。

庭から小さなリビングのガラス戸を開けて、ひよこり父が入ってくるような気がした。

若いころは、いろいろあったが、介護をすることもなくあつとつと間に「く」になった父が、介護疲れが出てきた私に「そのぶん、お母の心を頼むから」と活を入れてるような気がした。

先日、相模原北公園に咲く紫陽花を見に息子に協力してもらい、車椅子の母を連れて行った。昨年、友人と行った時に「ダンスパーティー」を見たのを思い出した。今年は見つけられなかったが、アナベルの群生をはじめ多くの種類の紫陽花が見事だった。それらの間をゆっくゆっくの散歩しながら、母の最終章が心豊かなものであることを祈った。



フォトコーナー



発見！相模原市役所前のマンホールにはSDGsが掲載！  
撮影：小山美智さん



先月26日の、皆既月食は、この辺りでは残念ながらきれいに観測することができませんでしたね。このみごとな写真は、会員の荒井善友さんのお友達が硫黄島で撮影されたものです。

クイズの答え

- ①は②の二酸化炭素。太陽の光で温められた地球の表面からは、熱が放出され宇宙に出ていくが、大気中の二酸化炭素は、この熱を吸収するため、二酸化炭素が増えること気温が上昇するから。
- ②は①の3分の1。
- ③は②の3〜5倍。

紙の繊維をほぐせば、再び使うことが出来る。ただし、だんだん繊維が傷んで絡みにくくなるので、再び繊維をくっつけて紙にするには限界がある。

\*日本で使われる紙の7割、一度使った紙(古紙)を原料にして作られる紙の割合は、大体60%です。

## ①ボランティアセミナーに参加してみませんか？



ボランティアセンターでは、「ボランティア活動をしてみたいけど、何をしたら良いかわからない」、「どんな活動があるのかしら？」という方を対象に、「ボランティアセミナー」を定期的で開催しています。ボランティア活動の基礎知識や心得、最新の活動についてご紹介する講座です。初心者の方だけでなく、活動歴のある方も大歓迎です！ぜひ一度ご参加ください！

日時 7月9日(金) 午後1時30分～2時30分

場所 あじさい会館6階 ボランティア活動室

申込 電話・FAX・メール等で中央ボランティアセンターまで

※今後の開催予定は、随時、市社協広報等でお伝えします。

ボランティアセンター  
さんから大募集中の  
ご案内です！



## ② “ヒント” を大募集中です！

ボランティアセンターでは、現在、地域課題に焦点を当て、その解決に向けた情報交換・ボランティアの養成を行う「課題別ボランティア養成講座」を企画中です。皆さんが日頃感じている“課題”が大きなヒントになります。日々、ボランティア活動をする中で感じた「〇〇の活動にはこんな課題がある」、「こんなことを勉強してみたい」等、皆さんの声を中央ボラセンまでお寄せください。電話・FAX・メール等、どんな方法でもかまいません。ご協力をお願いします！

連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所 : 電話 042(759)7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター: 電話 042(786)6181

FAX 042(786)6182

メール svc@sagamiharashishakyo.or.jp



山口尚美画

《今月のイラスト  
…梅雨のあじさい》

### 編集後記

ある日のこと、「男に生まれてしまった  
い」とか、「やっぱり女がいいな」とか、  
思い思いのなりたつを出っ台つていきや  
かじやっていた時、「私、生まれ変わりたい  
くない。また同じようなことが起きると  
大変だから」と言った人が出た。  
それから、このゲームはやらなくな  
った。

(山)

### ご寄付をありがとうございました

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切に使用させていただきます。

<5月の寄付者>

安本 博美 様

その他9名の方からご寄付をいただきました。

<5月の寄付金>

総額 21,560円でした。

